

「食と農の未来フォーラム」開催中です。



写真:野生キンラン（東京・東村山市）、堰浚いボランティア（福島・喜多方市）、PresentTree植樹イベント（山梨・笛吹市）

1 開催の趣旨と目的

（1）現在、食と農は、様々な深刻な課題に直面しています。

例：食料自給率の低迷、担い手・農地など生産基盤の脆弱化、栄養バランスの崩れと食生活の乱れ、膨大な食品ロス等

（2）これらの課題の多くは、「食(食卓、消費者、都市)と農(産地、生産者、農村)の間の距離」が離れてしまっていることに起因しています。

多くの都市の消費者にとって、食べものは、お金さえ出せばいつでもいくらでも買える単なる「商品」に過ぎなくなっており、それがどこで、どんな人によって、どのように生産され、食卓まで運ばれてきているかを想像できなくなっています。

（3）本フォーラムは、都市の一般市民（消費者）の方々を主な対象として、食と農の現場の実情と課題を身近に感じ、理解し、ひいては自主的な行動変容につなげて頂くことを期待して、中田個人（ウェブサイト「フード・マイレージ資料室」）の主催により開催するものです。

食や農の現状に興味・関心をお持ちの方など、幅広い皆様の参加をお待ちしています。

2 スケジュールと内容

【第1回】2025年6月30日（月）午後7時～9時、オンライン【終了】

「食と農の未来フォーラムの開催について一なぜ農業問題は都市住民(消費者)の問題なのか」（仮題）をテーマに中田から説明と問題提起を行い、今後の取り進め方や要望等について意見交換。 [概要、説明資料→]



【第2回】7月23日（水）午後7時～9時、オンライン【終了】

ゲスト：大友 治さん（本木・早稲谷 堰と里山を守る会、福島・喜多方市山都）

テーマ：「米は田んぼだけで作られるのではない 稲作が生産するのは米だけではない
ー江戸時代から山間部の棚田を潤す本木上堰の現状と課題ー」

[←概要、説明資料]



【第3回】8月26日（火）午後7時～9時、オンライン【終了】

ゲスト：鈴木純子さん（ふくしまオーガニックコットンプロジェクト、福島・いわき市）

テーマ：「原発被災地でオーガニックコットンを育て「続け」ること」

[概要、説明資料→]



【第4回】9月20日（土）午後7時～9時、オンライン【終了】

ゲスト：榊田みどりさん（農業ジャーナリスト、明治大学客員教授）

テーマ：「都市住民こそ他人事じゃない！ 私たちの食べものは大丈夫？」

[概要、説明資料→]



【第5回以降】

（1）毎月1回程度の頻度で、食や農の「現場」に精通しているゲストをお招きして開催

（2）基本的にオンライン（zoomを利用）、年数回は料理教室や現地見学会をリアルで開催

（3）ゲストの人選や内容については、参加者からの意見・要望を踏まえて決定

食や農の現状に問題意識をお持ちの方、これまであまり考えたことはなかったけれど興味・関心をお持ちの方など、幅広い皆様の参加をお待ちしています。

3 主催

ウェブサイト「フード・マイレージ資料室（主宰・中田哲也）」
メール：foodmileage(アットマーク)jcom.home.ne.jp

←協力：（一般社団法人）アクティブサポーターズ

